

北東アジアフェリー航路の実現に向けて

ERINA Proposal Seminar

2007. 2. 15

特別研究員

三橋郁雄

地図



Think & Do

環日本海時代を作り上げるのにふさわしい研究機関を目指す

Think TANK → Think & Do TANK

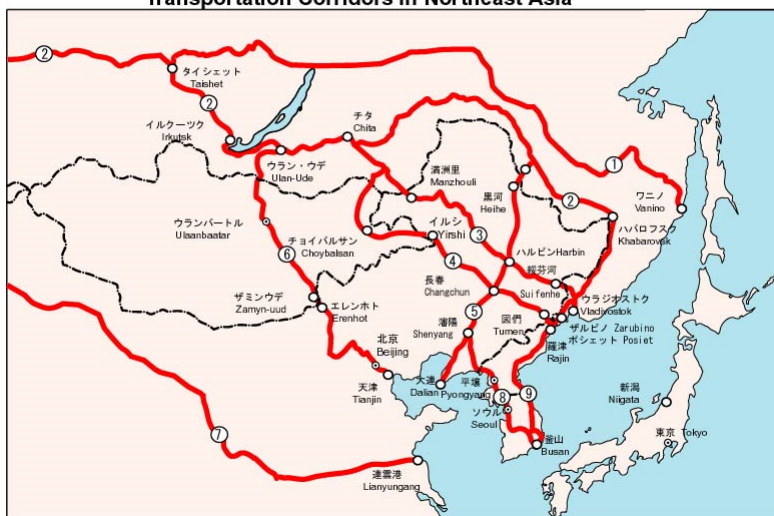
Research → Research & Development

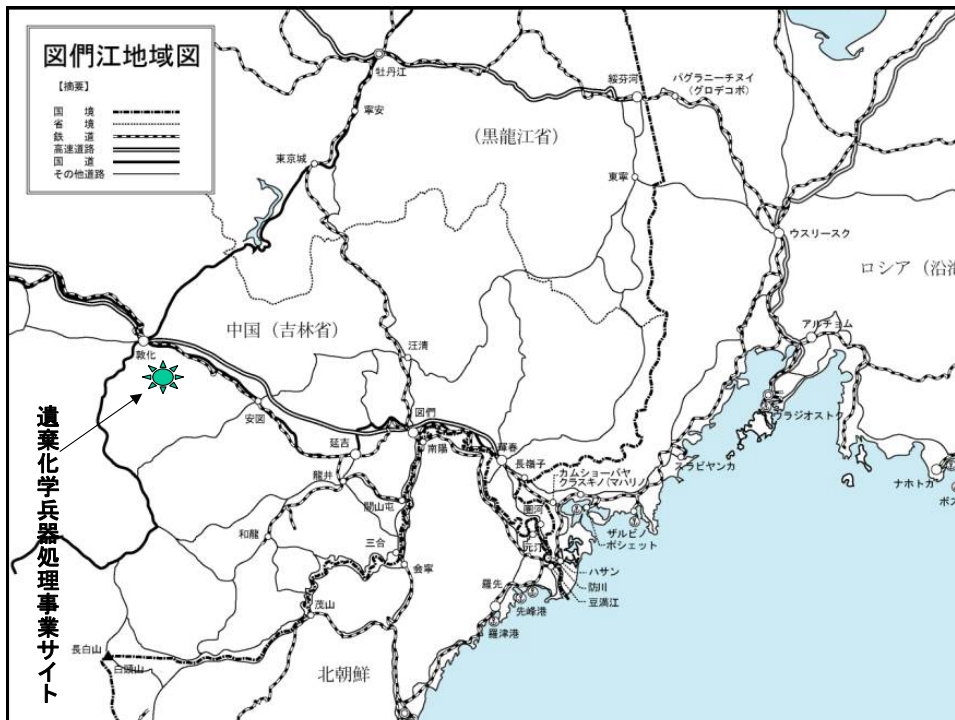
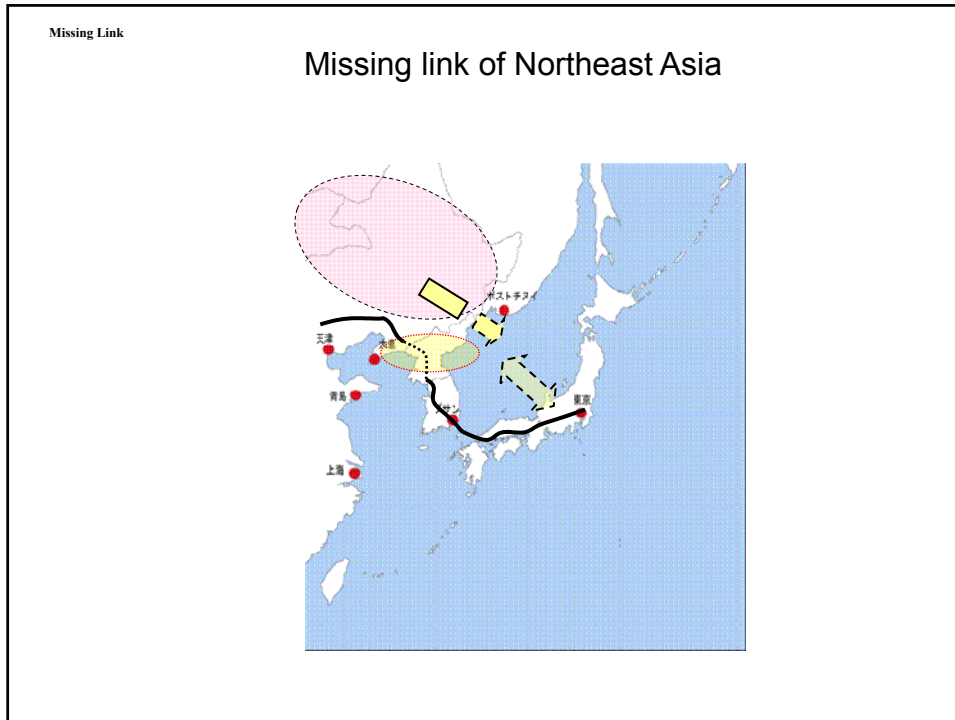
R → R & D

T → **T & D**

何故北東アジアフェリー航路開設を目標に掲げたか

北東アジア輸送回廊
Transportation Corridors in Northeast Asia



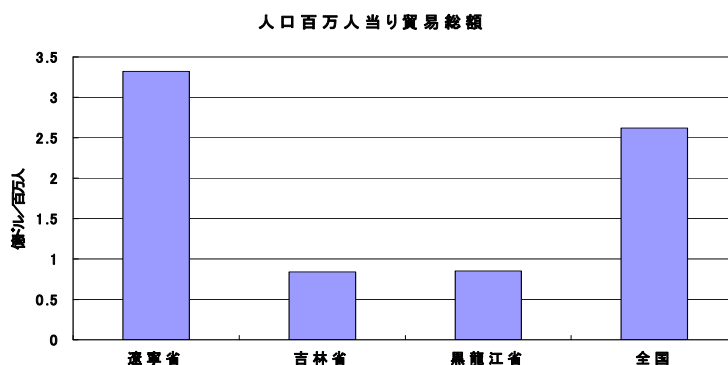


旅客流動

受入国		inbound 旅客の国籍と inbound 旅客数(単位:千人)(2001)					
		中国	韓国	日本	ロシア	極東ロシア (注2)	世界
中国	中国全体		1,677	2,385	648(2003)	648	11,226
	遼寧省 (2002)	*	279	320	34		930
	黒龍江省 (2002)		23	39	569		717
	吉林省 (2002)		133	25	73		294
韓国		482	*	2,377		14.4	4,861
北朝鮮(2003、注1)		100	15	1.5	2		110
モンゴル(2003、注3)		90	17	7.8	51		205
日本		444	1,343	*	37(2002)	14.4	5,286
ロシア	ロシア全体			44(2000)	*		
	極東ロシア (2003、注2))	208	7.8	23.4		*	260

注1)、2)、3) 北東アジア国際観光促進フォーラム資料による

大陸の陸封化状況



北東アジアフェリー航路の意義

北東アジア陸封地域(吉林省、黒竜江省、内モンゴル、モンゴル)7000万人の日本海・太平洋への出口、経済発展ポテンシャルの開花
北東アジアで最も緊張度が高い地域の健全度の増大→ロシア、北朝鮮問題への貢献
日本の裏日本地域の経済発展を牽引
環日本海経済圏を創出、牽引



北東アジアの安定と繁栄に著しく貢献
多国間協力のモデル
北東アジアの平和のパロメーター

開設にむけての関係国会議

- | | |
|------------|---|
| 2003.10.21 | 琿春会議 琿春宣言 |
| 2004.2.4 | 新潟フォーラム 新潟宣言 |
| 2004.7.2 | ウラジオストックフォーラム ウラジオストック宣言 |
| 2005.10.3 | 吉林省、ハサン地域責任者によるザルビノ港ポートセールスを新潟で開催 |
| 2006.2.2 | 新潟市フォーラム |
| 2006.2.21 | 琿春国際フォーラム(東芝国際交流財団) |
| 2006.5.25 | ウラジオストック会議 合意成立(署名者はロシア沿海地方政府副知事、中国琿春市長、韓国東春フェリー社長、日本(財)環日本海経済研究所理事長) |
| 2006.9 | 長春会議で再確認 |
| 2007.2.6 | 4カ国5首長会議 |

合意成立

日本海横断航路開設に向けてのザルビノ会議の議事録
(新潟・ザルビノ間国際フェリー航路事業)

2006年5月25日、日本、中国、韓国、ロシアの関係者(別紙参照)は、ロシア沿海州スラビヤンカに集まり、日本海横断航路(新潟・ザルビノ間国際フェリー航路事業)について意見交換した。その結果、下記事項について合意し、今後、本事業の実現に向けて、4ヶ国関係者が一層協力を深めていくこととした。

1. 航路で結ばれる港 ザルビノ港—新潟港外
2. 運航頻度 週1回若しくは2回
3. 航路運営主体

航路運営主体としては新たに有限責任の会社を作ることとし、日本、中国、韓国、ロシアの関係者はその会社に資本参加する。資本金等については今後協議する。

4. 会社設立に向けての事務の責任者は

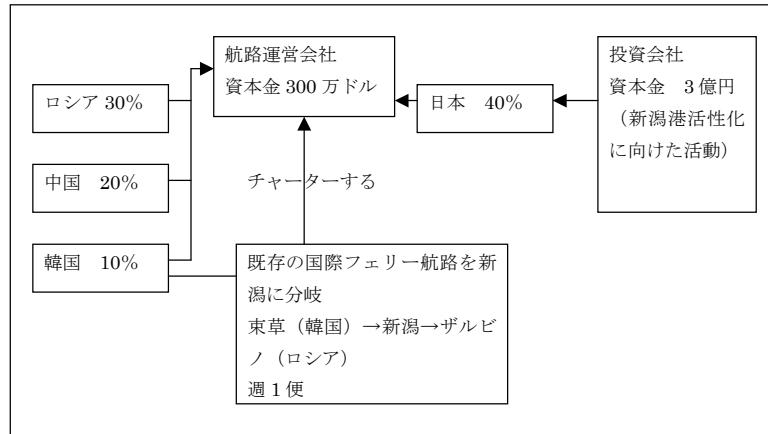
日本: 吉田(財)環日本海経済研究所理事長
 中国: 金 琿春市長
 韓国: 白 東春フェリー株式会社 社長
 ロシア: ゴルチャコフ 沿海州政府副知事

とし、連絡を取り合うコンタクトパーソンとしては、

日本: 三橋 (財)環日本海経済研究所特別研究員、足立 特定非営利活動法人北東アジア輸送回廊ネットワーク 事務局長
 中国: 金 琿春市長, 蔡 琿春市副市長
 韓国: 白 東春フェリー株式会社 社長, Mr. Seung Tae Park, Deputy general manager
 ロシア: テキエフ沿海州議会副議長、ボロディン沿海州政府儀典長



航路運営会社と出資比率



4カ国5首長会議



合意文書

2007年2月6日われわれは日本国新潟に集まり、現在中国、日本、韓国、ロシアの関係者の間において具体化に向けての作業が行われている中国（琿春市）日本（新潟市・聖籠町）、韓国（東草市）、ロシア（ハサン地区）を結ぶ国際フェリー事業について意見交換を行った。会議は友好的雰囲気の下、自由かつ率直な意見交換が行われ、実りの多い会議となった。その結果下記事項について合意を得た。

1. 本事業は中国、日本、韓国、ロシア間の北東アジア貿易交流、同旅客交流の促進に大いに寄与すると考えられるので、その早期実現を望むものである。
2. われわれ首長は、本事業の実現に向けて積極的に取り組むこととする。
3. われわれ首長は、本航路の早期開設に向け、乗客及びコンテナ等貨物の利用促進に積極的に取り組むこととする。
4. 本事業の成功のためには、われわれ首長間の十分な相互理解が前提であり、今後一層の情報交換、意見交換に努めることとする。
5. 本事業は4ヶ国に跨る事業であり、本事業に対する各国中央政府及び関係地方政府の十分な理解と積極的協力を要望する。

2007年2月6日

中華人民共和国吉林省琿春市副市長
00000000000000
日本国新潟県新潟市長
00000000000000
日本国新潟県北蒲原郡聖籠町長
00000000000000
大韓民国江原道東草市長
00000000000000
ロシア連邦沿海地方ハサン地区長

プロジェクトの採算性

旅客流動: 中国→日本

韓国→日本

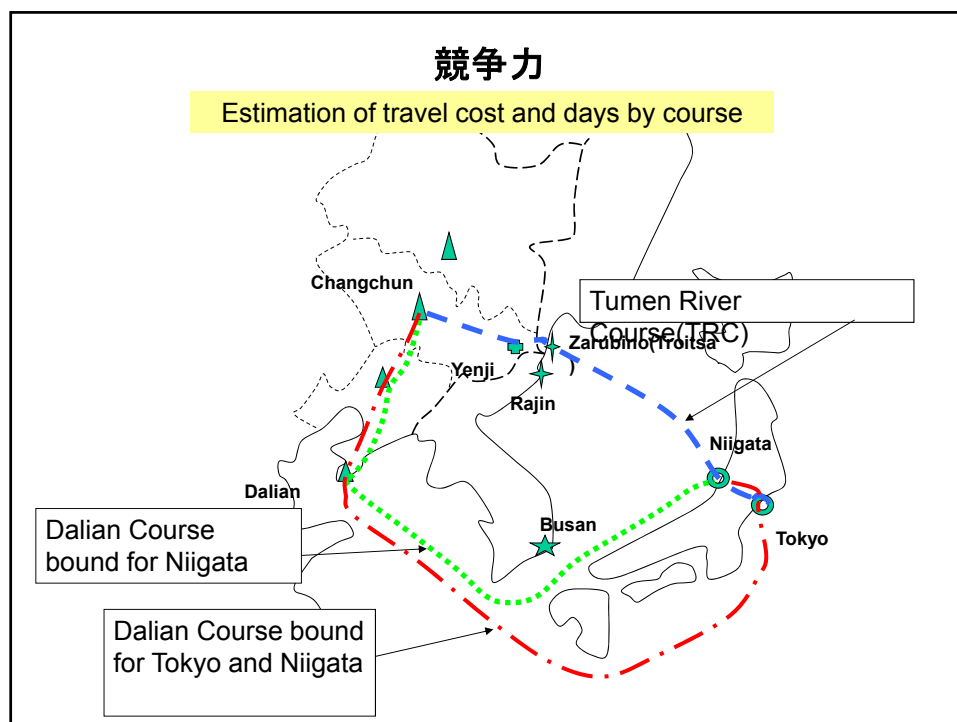
ロシア→日本

貨物流動: 日本→ロシア 中古車

日本→中国 代理輸送人利用貨物

中国→日本 アパレル、食品加工品、木材加工品

韓国⇄日本 16000TEUの潜在量



日本側の課題と今後の展望

1. 日本側における会社設立
2. 新潟港における国際フェリーターミナルの設置
取扱対象が旅客、コンテナ、自動車→1箇所と同時に大陸側にあつて日本側にはない国際フェリーターミナル
今後、各地で建設を進める必要がある。

有難うございました